

「東広島・呉自動車道」部分開通により 並行する国道等の死傷事故が約4割減少



東広島・呉自動車道の上三永IC～高屋JCT・IC間の開通により、並行する国道375号と市道土与丸御園宇線(旧国道375号)の死傷事故件数が減少しました。
樋ノ詰橋東交差点～西条インター入口交差点間では、開通前の平成18年には125件/年の死傷事故が発生していましたが、上三永IC～高屋JCT・IC間開通後の平成22年には72件/年と死傷事故件数が約4割減少しました。

